

石川県教育支援センター 令和5年度

やすらぎ金沢通信 2・3月

☆URL <http://www.ishikawa-c.ed.jp/yasuka>

☆E-mail yasuka@ishikawa-c.ed.jp

☆Tel 076-243-1612

☆Fax 076-243-1663



『自分だけの幸せ』

やすらぎ金沢教室 副室長 濱本 信一

令和6年能登半島地震に伴う災害により被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

さて、昨年10月に公表された文部科学省の調査によると、令和4年度の小・中学校の不登校児童生徒数は約30万人(在籍児童生徒数に対する割合3.2%)、高校の不登校生徒数は約6万人(在籍生徒数に対する割合2.0%)となり、増加し続けています。これを受けて、国から各教育機関等に向けて、「学びの保障」「子どもの居場所づくり」に関する、様々な通知・提案がなされ、各学校・教育機関等では様々な工夫をこらした不登校児童生徒への支援が行われています。

私の勤務する金沢中央高校の卒業生総代の女子生徒が読んだ答辞の一節を紹介します。『私たち一人ひとりの歩む人生が人からどう見えようと気にする必要はありません。周りからの見え方や評価に左右されず、自分だけの幸せを見出してください。いじめを経験した私は周りの目に怯えることが多く、学校に足を踏み入れるだけで涙が止まらない日もありました。心の傷を癒すのに時間はかかりますが、どうか自分の世界を貫いてください。みんなが心から皆さんを応援してくれています。』これを聞いたとき、私の目には、成績優秀、生徒会や部活動にも積極的に頑張り、みごとに大学進学も決めた模範的学生だと映っていた彼女のことを、自分は全く何も知らないでいたことに衝撃を受けるとともに、自分よりはるかに若い彼女が、このように考えられることに強い感銘を受けました。そして、学校や社会と繋がり、何かを学び続けることは、人をとつもなく大きく強く成長させる可能性があることを、改めて確信できた瞬間にもなりました。

「やすらぎ教室」は、種々多様な理由で不登校となってしまった生徒に対して、その居場所を提供するとともに、学校復帰に向けて、専門医、大学教授、カウンセラー、スクールソーシャルワーカーなどに相談ができ、様々な支援に繋がっていただける場所になります。医療相談等もできますので、必要のあるときに、ぜひ皆様の話を本室スタッフがしっかりと聞かせていただき、登校に向けての一步を踏み出すお手伝いをさせていただければと思います。



1・2月相談状況

4月1日～2月29日 ※()内は令和4年度の人数

月	来所相談	出張相談	電話相談	合 計	通 室
4月～12月	226(305)	19(19)	211(324)	456(648)	72(187)
1月	32(30)	0(0)	22(22)	54(52)	12(22)
2月	32(12)	0(0)	32(14)	64(26)	4(3)
合 計	290(347)	19(19)	265(360)	574(726)	88(212)

医療相談会(14:00～16:00)

期 日	担 当
3月 7日(木)	柏谷真由美 先生 (わせだクリニック 公認心理師・臨床心理士)
14日(木)	

SC 相談会(13:30～15:30)

日 時	担 当
3月 4日(月)	森 彩香 先生 (公認心理師・臨床心理士)

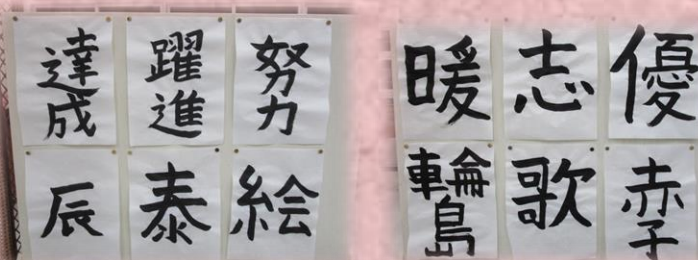
やすらぎ金沢教室は2月8日(木)から石川県平和町庁舎(金沢市平和町1丁目3番1号)に仮移転しました。来室の際は、お間違えのないようにお越しく下さい。

電話番号・FAX番号は今までと変わりません。相談会の申し込みやお問い合わせは、お電話でお願いします。

1・2月の活動の様子



書き初め



ナンプレ(ナンバープレース)に挑戦!

ナンプレは9列9段のマス目を3列3段のブロックに分け、各列・各段・各ブロックに1から9までの数字を重複しないように入れるパズルです。新聞や雑誌にもよく掲載されていますね。やすらぎ金沢教室では、今、自分のレベルにあったナンプレにそれぞれが取り組んでいます。全部数字が入った時の達成感は「できた!」の一言に表れています。